

インドネシア語における限定表現

hanya / saja に関する一考察

Utari Novella (名古屋大学大学院)

要旨

本稿では、インドネシア語における限定を表す副詞 hanya、saja の構造的及び意味的な用法を明らかにした。hanya、saja は日本語に訳すと、辞書の意味から見れば「しか～ない」「だけ」と「ばかり」に相当する。しかし、文によって「しか～ない」「だけ」と「ばかり」に相当しない場合もある。hanya、saja は意味が似ているため、日常会話で使用頻度が高く、誤用もよく見られる。構造的使い分けには、誤用があまり見られないが、意味的使い分けには、よく見られる。意味的使い分けの誤用があるため、日本語に訳す際違う言葉に訳してしまう。そのため、インドネシア語で hanya、saja の意味的使い分けの違いを検討する必要がある。

まず、文中における hanya、saja の位置の違いについて説明した。また、「-lah」という接語は hanya、saja に付くが、隣接できる品詞と意味のニュアンスは異なる。次に、文中において hanya、saja の焦点と作用域について記述した。限定の副詞の焦点と作用域を分類するため、基本的に沼田(2009)の研究に従って検討した。最後に、hanya、saja の構造を明らかにして、意味の面からの違いを説明した。

1. はじめに

インドネシア語における限定を表す副詞の構造的及び意味的な用法を検討する。インドネシア語の副詞はいくつかに分かれていて、その1つに限定を表す副詞がある。インドネシア語では adverbial limitatif という名で示される。インドネシア語の限定を表す副詞は hanya、saja、sekadar、semata などがある。sekadar、semata は日常会話であまり見られず、硬い文章または書き言葉として使用される。一方 hanya、saja は日常会話で使用頻度が高く、誤用もよく見られる。実際、hanya、saja は意味が似ているため、文中で誤用に気が付かない人が多く、そのまま使ってしまう。但し、ニュアンスの面では、hanya、saja の意味は同じではない。構造的な誤用はあまり見られないが、意味的な誤用がよくある。以下の例を見てみよう。

(1a) Uang saja yang dia pikirkan.

お金 限定副詞 関係代名詞 彼/彼女 考える

「彼/彼女はお金のことばかり考える。」

(1b) Hanya uang yang dia pikirkan.

限定副詞 お金 関係代名詞 彼/彼女 考える

「彼/彼女はお金しか考えない。」

(2a) Tadi pagi saya hanya makan roti.

今朝 私 限定副詞 食べる パン

「今朝私はパンしか食べなかった。」

(2b) Tadi pagi saya makan roti saja.

今朝 私 食べる パン 限定副詞

「今朝私はパンだけ食べた。」

例(1)と(2)は *saja* と *hanya* を含む文である。例(1a)の場合、*saja* の出現が「お金のことを考える回数が多い」という意味を表す。しかし、実際の使い方では、「お金のことを考える回数が多い」の意味を表すときに、例(1b)の文を使う人が多い。構造的には、これらの文はどちらも自然だが、ニュアンスが異なる。例(1b)は、「お金のことを考える回数が多い」という意味ではなく、「お金以外は考えることがない。つまりお金のことしか考えない」という解釈になってしまう。そして、例(2a)の場合、*hanya* の出現は「今朝パン以外の食べ物がなく、パンしか食べない」という意味を表す。日常会話では例(2a)の意味で例(2b)が使われることがよくある。しかし、*saja* を使うと、「他の食べ物があるが、パンだけを食べる」という意味になる。日常の使用では、*hanya* と *saja* の意味の違いはあまり感じられないが、実際に *hanya* と *saja* の意味は同じではない。

上記の例に見られるように、*hanya* と *saja* の正しい使い方を把握できるように詳細な研究を行う必要がある。*hanya*、*saja* は日本語に訳すと、辞書的意味から見ればそれぞれとりたて助詞「しか～ない」、「だけ」と「ばかり」に相当する。しかし、文によっては「しか～ない」、「だけ」と「ばかり」に相当しない場合もある。本稿では *hanya*、*saja* のそれぞれの用法を明らかにしたい。

文中での *hanya*、*saja* の出現の仕方は異なり、どの品詞の前後に出現できるかについても異なる。この品詞を分類することが必要である。また、インドネシア語の副詞 *hanya*、*saja* には、文中で限定する焦点と作用域があり、それを決める要因がある。それがどのような要因か、明らかにすることも必要である。さらに、文中における *hanya*、*saja* の意味はいくつかに分かれる。*hanya*、*saja* にはどのような意味の違いがあるのか、両者の相違点を明確にすることも必要である。そして *hanya* と *saja* を日本語に訳す際の対応についても検討したい。

2. 先行研究

限定を表す副詞としての *hanya*、*saja* に関する構造・意味の詳細な研究は、管見の限り多くはない。よって、*hanya*、*saja* をめぐって十分な記述が行われているとは言い難い。*hanya*、*saja* についての研究は、インドネシア語の本における一章、数ページに留まっている。しかし、まったく研究がないわけではない。ここで取り上げるのは、現代の規範文法『標準インドネシア語文法』における Alwi (2003)、Chaer (2008、2009)、Sugono (2011) の研究である。

Chaer (2009) は、文中での *hanya*、*saja* の構造位置に関して、*hanya* は、名詞、動詞、形容詞の左側に現れ、*saja* は、名詞と動詞の右側に現れると述べている。一方、Alwi (2003) は、*saja* は名詞と動詞以外に疑問詞にも、疑問文または平叙文の中で後接でき、2つの節の間に現れ得ると述べている。次に、*hanya* と *saja* の意味について Sugono (2011) は、文中では、*hanya* と *saja* の意味は異なっていて、そのため *hanya* と *saja* は、互いに置き換えることができないと述べている。しかし、Sugono ではどのような意味の違いがあるのか、説明がなされていない。『インドネシア語大辞典』(1988)でも、*hanya* と *saja* の意味は次のような記述に留まっている。*hanya* の意味¹: *cuma* 「しか」、*kecuali* 「除く」、*tetapi* 「しかし」、*tidak lebih dari* 「そ

¹ それぞれの日本語訳は、筆者による辞書的意味の訳である。

れ以上ない」、saja「だけ」、sajaの意味:hanya「だけ」、melulu「ばかり」、pun「も」、selalu「いつも」、lebih baik「したほうがよい」。ただし、説明不足でそれぞれの意味の統語的な特徴の説明はなされていない。

続いて、焦点と作用域に関する先行研究を概観する。本稿では日本語で限定の副詞句を作る助詞「しか」「だけ」「ばかり」との対応関係を視野に入れている。そのため、日本語の「しか」「だけ」「ばかり」の焦点と作用域について整理した沼田(1992, 2009)に従い、検討を進める。

3. 考察

3.1 hanya、saja の位置

Chaer(2009)は、文中で hanya は、限定する名詞、動詞、形容詞または他の品詞の前に現れ、saja の場合は、名詞と動詞の後に現れると述べている。限定を表す副詞は文の中のいろいろな位置に現れることができる。hanya、saja について、それぞれの例を以下に挙げる。

3.1.1 hanya の位置

- (1) hanya dia yang belum bayar SPP.
限定副詞 彼/彼女 関係代名詞 まだ 払う 学費
「彼/彼女しか学費をまだ払ってない。」
- (2) Aku hanya meminjam uang Azima 30 dolar.
私 限定副詞 借りる お金 アジマさん 30 ドル
「私はアジマさんのお金を 30 ドルしか借りなかった。」
- (3) Dia suka menyanyi, tapi hanya di kamar mandi.
彼/彼女 好き 歌 しかし 限定副詞 で トイレ
「彼/彼女は歌うのが好きだが、トイレでしか歌わない。」
- (4) Anak -nya hanya 2 orang.
子供 -接語 限定副詞 二人
「子供は二人しかいない。」
- (5) Gadis itu hanya cantik, kepandaiannya tidak ada.
少女 あの 限定副詞 きれい インテリジェンス ~ないある
「あの少女はきれいではない、インテリジェンスがない。」
- (6) Dia hanya -lah teman biasa.
彼 限定副詞 -接語 友達 普通
「彼はただ普通の友達なだけだ。」

3.1.2 Saja の位置

- (7) Uang saja yang dia pikirkan. (再掲)
お金 限定副詞 関係代名詞 彼/彼女 考える
「彼/彼女はお金のことばかり考える。」
- (8) Aku mengundang dia saja di hari ulang tahun-ku.
私 招待する 彼 限定副詞 に 誕生日 -接語 1. sg 所有

「私の誕生日に彼だけ招待する。」

- (9) Mengapa semalaman anak -mu menangis saja?
 なぜ 一晩中 子供 -あなた 泣く ずっと
 「なぜ一晩中あなたの子供はずっと泣いていたの?」
- (10) Harga baju ini seribu yen saja
 値段 服 この 千 円 限定副詞
 「この服の値段はたった千円だ。」
- (11) Senang saja hatinya meskipun tidak ada duit.
 楽しい 限定副詞 心 ~しても ない ある お金
 「お金がなくても、ただ楽しいだけだ。」
- (12) Kamu tadi pergi dengan siapa saja?
 あなた さっき 行く と だれ 限定副詞
 *あなたはさっきだれだけと行った。(lit)
 「あなたはさっき誰と誰とだけ行った?」
- (13) Kami boleh membeli apa saja.
 私たち ~してもいい 買う なに 限定副詞
 「私たちは何でも買ってもいい。」
- (14) Makan saja -lah semuanya, jangan disisakan.
 食べる 限定副詞 -接語 全部 ~しないで 残す
 「全部食べて、残さないで。」

上記の例文に見られるように、*hanya*、*saja* はともに文中において多くの位置に出現できる。ただし *hanya* と *saja* は文中で異なる位置に現れる。例(1)-(6)から分かるように、限定を表す副詞 *hanya* は、名詞・名詞句、人称代名詞、動詞・動詞句、前置詞句、数量詞、形容詞、副詞の前に出現できる。また、例(6)と(14)では「-lah」という接語の出現が見られる。インドネシア語で「lah」という接語にはいくつかの使い方がある。命令文で動詞の後に現れると、その文を柔らかくする。もう1つは、語または文の後に現れると、文の強調として使用される。

「-lah」は様々な品詞に付くことができる。例(6)のように限定を表す副詞 *hanya* に結合すると、*hanya* の意味は変わらず、単に *hanya* の意味がより強調される。*hanyalah* は *hanya* と同じ品詞に前接することができる。ただし、元々 *hanya* が疑問詞の前に現れることは少ないが、*hanyalah* が疑問詞の前に現れることはない。これは、-lah が疑問文では使えないためである。

他方、例(7)-(14)から分かるように、*saja* は *hanya* と同じような多様な品詞の後に加えて、疑問詞の後も出現できる。*hanya* は疑問詞の前に現れる可能性が低く、あるとしても不自然で、特別なケースにのみ現れ得る。以下のような例が挙げられる。

- (12') Kamu tadi pergi hanya dengan siapa?
 あなた さっき 行く 限定副詞 と だれ
 「あなたはさっき誰かと行った?」

例(12')は、(12)と同様に限定副詞 *hanya* が疑問文に現れている。このような文は日常会話ではあまり見られない。ただし、文脈によっては、このような *hanya* がの位置が可能なのもある。

る。例えば、恋人が挙動不番の時に hanya を使うと、話し手は相手の浮気を疑っていることになる。この場合、疑わしい気持ちを伝えるために、hanya を使用している。

また、saja は疑問詞疑問文と疑問詞平常文においても普通に表れ得るが、疑問詞疑問文の場合、saja に「-lah」が隣接することはない。これは、もともと「-lah」が命令文と平叙文にしか現れないためである。疑問詞平叙文の場合、sajalah の出現は可能であり、saja の意味が強調されている。

具体的な hanya、saja の位置の相違点は、次の表のようにまとめられる。

表 1

	名詞・ 名詞句	人称代 名詞	動詞・ 動詞句	前置詞 句	数量詞	形容詞	副詞	疑問詞 疑問文	疑問詞 平叙文
hanya (前接)	0	0	0	0	0	0	0	△	X
saja (後接)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
hanya + lah (前接)	0	0	0	0	0	△	△	X	X
saja + lah (後接)	0	0	0	0	0	0	0	X	0

0 : 出現できる

X : 出現できない

△ : 出現しにくい/硬い文章

3.2 hanya と saja の焦点と作用域

3.2.1 hanya の焦点と作用域

限定副詞 hanya、saja の焦点は、文中においていくつかの現れ方がある。沼田 (2009) によると、日本語の限定のとりたて助詞は、直前焦点 (normal focus)、後方移動焦点 (backward focus)、前方移動焦点 (forward focus) に分かれている。インドネシア語の hanya、saja の焦点においては、沼田の主張と合致する部分もあるが、文の構造が異なるため援用できない場合もある。また、沼田 (2009) は文中でとりたてる要素を表すために「自者」という用語を使用し、同類の他の要素は「他者」という名で示している。本稿では「自者」として「被限定要素」の用語を使用し、「他者」として「対照的な他の要素」の用語を使用する。作用域を分類するためには、同類の他の要素 (他者) を考察する必要がある。

文中における hanya の焦点は以下の 3 つに分けられる。

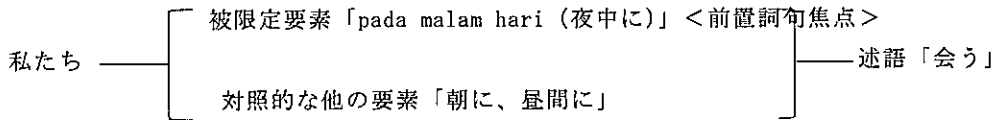
a. 直後焦点

日本語と違って、hanya は必ず被限定要素の前に現れるので、焦点になる要素は hanya の後

ろに出現する。この焦点は、単文にも複文にも現れることができる。主語名詞句、述語句/述語句全体、目的語名詞句、時間句、前置詞句が hanya の焦点になり得る。被限定要素が述語であれば、作用域と焦点は一致する。ただし、被限定要素が述語以外の要素の場合、作用域は述語と焦点を合わせた範囲になる。hanya の直後焦点は、hanya が先頭に位置すれば、文の主語だけでなく節を限定することもできる。限定されるのが主語なのか節なのかは、対照的な他の要素との関係で判断できる。このタイプの焦点の例を以下に挙げる：

- (15) Kami bertemu hanya pada malam hari.
 私たち 会う 限定副詞 に 夜中
 「私たちは夜中にしか会わない。」

bertemu pada malam hari 「夜中に会う」(作用域)

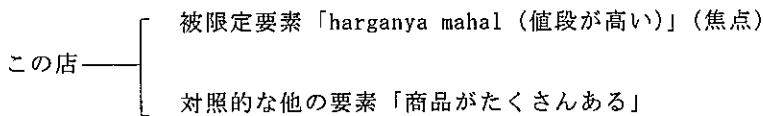


b. 述語句後方焦点

この類では、hanya が従属節のはじめに表れ、後続する述語全体が焦点となる。直後焦点と違って、この焦点においては、被限定要素と対照的な他の要素が主文として文中に表れ、直後の名詞句ではなく、述語句全体を限定する。このタイプの焦点は、日本語と少し違う。日本語の場合は、後方移動焦点(述語句焦点)という名で示されるが、とりたて助詞の位置が異なる。日本語ではとりたて助詞が名詞句に後接し、述語より前に位置するが、焦点になる要素は名詞句から述語の範囲までである。

- (16) Toko ini barang-nya banyak, hanya harga-nya mahal.
 店 この 商品 -接語 たくさん 限定副詞 値段-接語 高い
 「この店は商品がたくさんあるが、値段が高いだけだ。」

harganya mahal 「値段が高い」(作用域)



この例は、

c. 述語の直後焦点

沼田(2009)は、日本語で、とりたて詞が述語に後接するにも拘わらず、その述語と共起する前方の名詞句等が焦点であるものを「前方移動焦点」と呼んでいる。しかし、沼田によれば、このタイプは全てのとりたて助詞に現れることはできない。「だけ」と異なり、「しか」は述語に後接しにくい。従って、「しか」が前方移動焦点をとることは少ない。ただし、この焦点の

タイプは「ばかり」によく見られる。以下に沼田(2009:71)の例文を挙げる。

(17) a<ご飯>他をろくに食べずに、<辛いおかず>自を食べてばかりいたからのどが
 渴いた。

b=<ご飯>他をろくに食べずに、<辛いおかず>自ばかりを食べていたからのどが
 渴いた。

例(17a)(17b)に挙げた例文は、「ばかり」という限定を表すとりたて助詞である。前方移動焦点は、ももとの(17a)の例を、(17b)の例にも変えることができる。両者は、同じ述語を用いているが、違う目的語を持っている。前者では、「ばかり」が従属節の述語に後接するが、述語「食べて」または述語句「辛いおかずを食べて」を限定しているのではない。後者では「述語句後方焦点(後方移動焦点)」と同様に「ばかり」が目的語と述語の間に位置している。しかし、述語句を限定しているのではない。前者の場合、被限定要素は従属節の述語の前で目的語として機能している要素「辛いおかず」で、対照的な他の要素は主節にある目的語「ご飯」になる。また後者の場合、被限定要素は「ばかり」の前に現れる目的語「辛いおかず」であり、対照的な他の要素は前者と同様に主節にある目的語「ご飯」である。

インドネシア語の hanya においても、日本語の前方移動焦点同様の現れ方が認められる。SOV 言語である日本語と SVO 言語であるインドネシア語は基本語順が異なるため、このタイプは「述語の直後焦点」「後方移動焦点」と呼ぶことにする。なぜかという、このタイプは、焦点が述語句内に表れ、限定副詞 hanya に隣接するのではなく、hanya の後の述語に隣接するからである。次に例を挙げる。

(18) Tadi pagi saya hanya makan roti, tidak makan nasi.
 今朝 私 限定副詞 食べる パン ~ない 食べる ご飯
 「私は今朝パンしか食べず、ご飯は食べなかった。」

上の文は hanya が主節の述語句の前に表れ、(15)(16)の例文と構造的に同じである。ただし、被限定要素と対照的な他の要素は異なっている。文(18)で、主節と従属節の述語は同じだが、目的語は異なっており、この場合、主節に現れる hanya は述語句を限定するのではなく、目的語「パン」を限定している。このような焦点は、hanya の直後焦点ではなく、述語の直後に現れる。この述語は焦点の中に入らない。従属節の目的語「ご飯」は焦点「パン」に対して対照的な他の要素になる。一方、作用域は hanya に限定される焦点に対応する述語を含む。上の文の hanya の焦点と作用域は次のように示すことができる。

makan roti 「パンを食べる」(作用域)

私は今朝――┌ 被限定要素「roti (パン)」(焦点) ─┐
 └ 対照的な他の要素「ご飯」 ─┘ ─ 食べる

日本語の訳を見ると、とりたて助詞「しか」は同じ「パン」を焦点とするが、文中で述語句の後には現れず、目的語に後接して、述語の前に位置している。つまり、「しか」は直前の目的

語を焦点にしている。沼田 (2009)が述べている通り、「しか」は前方移動焦点に現れにくい。

3.2.2 saja の焦点と作用域

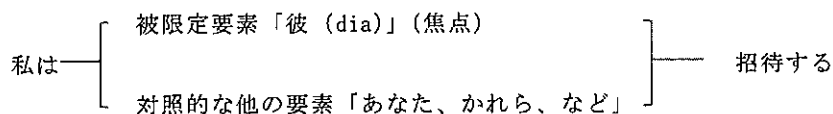
文中における saja の焦点の現れ方は、hanya と違って1つしかない。

直前焦点

saja は文中で限定要素の後に現れるので、日本語と同様に焦点は saja の前に位置する。saja は文中で、主語名詞句、述語句/述語句全体、目的語名詞句、前置詞句、時間句を限定することができる。文末に現れる saja は、対照的な他の要素によって全文を限定する場合がある。

- (19) Aku mengundang dia saja di hari ulang tahun-ku.
 私 招待する 彼 限定副詞 に 誕生日 -1. sg 所有
 「私の誕生日に彼だけ招待する。」

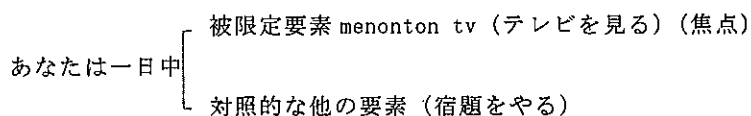
mengundang dia 「彼を招待する」(作用域)



次の例は、述語句全体が焦点になっている。この場合、saja が主節末に表れているが、被限定要素となる部分は述語句全体である。対照的な他の要素は文中に後接節(従属節)として現れている。直前の目的語名詞だけでなく、述語句全体が被限定要素になるが、これも直前焦点の一種と認められる。

- (20) Kamu seharian menonton tv saja, tidak mengerjakan PR.
 あなた 一日中 見る テレビ 限定副詞 ~ない やる 宿題
 「あなたは一日中テレビばかり見て、宿題をやらない」

seharian menonton tv (一日中テレビをみる)(作用域)



述語句の後ろに位置している saja は、文によって述語句、目的語名詞及び文全体を限定できる。しかし、それ以外の場合は、直前の要素しか限定することができない。例えば、以下の日本語の例文をインドネシア語に訳す場合を考えてみよう。

- a. 「今朝私だけパンを食べて、太郎は(パン)を食べなかった。」
 b. 「今朝だけ私はパンを食べた、昨日は私はパンを食べなかった。」

このような例文をインドネシア語に訳す際、saja を述語くの後ろに置くことができない。a は主語「私」 saya を限定するので、saja は主語に後接する。そして、b は時間句「今朝」 tadi pagi を限定するので、saja は時間句に後接する。

- a. Tadi pagi saya saja yang makan roti, Taro tidak makan (roti).
 b. Tadi pagi saja saya makan roti, kemarin saya tidak makan roti.

hanya の焦点の現れ方の区別に従えば、saja にも「述語直後焦点」があることになるが、焦点となる補語は、saja の直前に位置し、直前焦点と変わらないので、述語直後焦点を考える必要はない。hanya と saja の焦点の違いは以下の表に示すことができる。

表 2

hanya	saja
直後焦点（主語名詞句、述語句、時間句、前置詞焦点）	直前焦点（主語名詞句、述語句、目的語名詞句、前置詞句、時間句）
述語句後方焦点（従属節述語句全体焦点）	なし
述語直後焦点（目的語名詞句焦点）	なし

3.3 hanya と saja の意味用法

hanya、saja は文中で様々な意味に用いられる。但し、どの意味で用いても、限定の意味を含んでいると考えられる。hanya と saja を置き換えると、構造的は違いだけでなく、意味の面でも違うニュアンスになる。以下では、hanya と saja の意味を考察する。

3.3.1 hanya の意味：

- a. hanya + 名詞、動詞、形容詞、前置詞（句）など：「他にはないから～しない」という意味。

(21) hanya kakak yang belajar.
 限定副詞 お姉ちゃん 関係代名詞 勉強する
 「お姉ちゃんしか勉強しない。」

例(21)で、hanya は、勉強する人はお姉さんだけで、お姉さん以外に勉強する人がいないという意味で用いられている。対照的な他の要素としてはお兄さんや弟が考えられるが、お兄さんや弟は勉強しない。そのためお姉さん以外に勉強する人がいない。日本語の訳で「しか～ない」に相当する。

- b. 節、hanya + 節：前に出てくる節はポジティブな意味を持っていて、後ろの節は前の節に比べると否定的な意味を持っている。接続詞「しかし」に相当する。

(22) Rumah itu besar dan bagus, hanya halaman-nya sempit.
 家 あの大きいと きれい 限定副詞 庭 所有 3. sg 狭い

「あの家は大きくてきれいだが、庭は狭い。」

例(22)では、*hanya* が前者と後者の接続詞として機能していて、後者は前者に対してポジティブではない意味である。それは、「家が大きくてきれい」に対して「しかし庭は狭い」という関係になっている。さらに、接続詞の働き以外に、*hanya* は「庭」について「*halamannya sempit* (庭が狭い)」という状態も限定している。家は大きくてきれいだが、「庭」についてはあまり満足していないところがあるという意味で、「庭」を限定している。日本語の訳では「しかし」に相当する。

c. *hanya*+数詞:「それ以上はない」または「少ない」という意味を含んでいる。

(23) Anak -nya hanya 2 orang. (再掲)
 子供 3. sg 限定副詞 二人
 「子供は二人しかいない。」

例(23)で *hanya* は数詞を限定していて、限定される数詞以上の数はないということを示す。インドネシア語では *hanya* が数詞に前接すると、「その数字の価値が低い」あるいは「少ない」という意味になる。上の例文を見ると、話し手は三人称の人の子供のことを話している。子供の人数は3人、4人ではなく2人だけで、2人以上はいない。例えば、あるところにA、B、Cさんがいる。Aさんは4人子供がいて、Bさんは3人子供がいて、Cさんは2人子供がいて。この中で子供が一番少ない人はCさんなので、話し手はそのような根拠から、Cさんの子供の人数を話すときに *hanya* で限定している。

d. *hanya*+*-lah*+名詞(句)、動詞(句)、前置詞句、数量詞: *hanya* の後に *lah* が付くと、(a)と(c)の意味を強調する。

(24) Dia hanya -lah teman biasa. (再掲)
 彼 限定副詞 -接語 友達 普通
 「彼はただ普通の友達なだけだ。」

例(24)では、*hanyalah* が「他はない」という意味を強調している。話し手が強調したいのは彼に対する関係で、普通の友達であることを限定し、普通の友達以上の関係ではないという意味を表す。

3.3.2 *saja* の意味

a. 名詞、動詞、形容詞など+*saja*:「唯一の方法」という意味を含んでいる。

(25) Ikan ini saja yang dibeli -nya di pasar tadi.
 魚 この 限定副詞 関係代名詞 買った -接語 で 市場 さっき
 「彼/彼女がさっき市場で買ったものはこの魚だ。」

例(25)で saja に限定される要素は「ikan ini (この魚)」である。市場では色々なものを売っているが、彼女または彼は他の物を買わず、買った物は魚だけである。あるいは、市場にはいくつか魚の種類があるが、彼/彼女が選んだ魚は1つ種類の魚「この魚」だけである。この魚だけ買えば十分だという意味である。この場合、saja は「だけ」に相当する。

- (26) Uang saja yang selalu dia pikirkan. (再掲)
 お金 限定副詞 関係代名詞 いつも 彼/彼女 考える
 「彼/彼女はいつもお金のことばかり考える。」

例(26)では、saja の出現をさらに強調するために、selalu (いつも) という頻度を表す副詞が用いられている。「話し手にとって、お金のこと以外に考えることはもちろんあるが、お金のことを考える回数が多い」という意味を表す。頻度を表す副詞 selalu (いつも) を伴って用いられると、多数性という意味に解釈されやすくなると考えられる。ただし、例(25)は(26)と同様に saja が唯一の物を表しているが、回数が多いという意味は含まない。

b. 数詞+saja : 「足りる、十分」という意味を表す。

- (27) Anak -nya 2 orang saja
 子供 3. sg 二人 限定副詞
 「子供は二人だけだ。」

(27)では、saja が人数「2人」を限定している。例(27)は(23)の例と似ているが、現れる限定の副詞が違って、意味のニュアンスも異なる。(23)では、hanya に限定される要素が「まだ足りない」「少ない」という意味を表すが、(27)では逆に、saja に限定される要素で「足りる」または「十分」というニュアンスが出てくる。例えば、あるところにA、B、Cさんがいる。Aさんは4人子供がいて、Bさんは3人子供がいて、Cさんは2人子供がいる。その中で子供が一番少ない人はCさんだが、話し手は、Cさんの子供の人数は2人で十分と考えている。

c. 疑問詞+saja : この構造は、2つに分けて考える必要がある。

ア. 疑問詞+saja (疑問文) : 複数の意味を表す。

- (28) Di sana anda akan membeli apa saja?
 で あそこ あなた 未来 買う 何 限定副詞
 # 「あなたはあそこで何だけを買う？」 lit
 「あなたはあそこで何と何だけを買う？」

例(28)では、saja が疑問詞「何」に先行されている。この場合、インドネシア語日本語に直訳すると非文法的になる。日本語の場合、一番近い訳は「何と何」が一番近い訳だと考えられる。

なぜかという、疑問文において疑問詞 apa「何」に接後する saja は、話し手が相手に対して複数の答えを求めていることを表している。話し手は、相手がたくさん買い物すると仮定している。そして、何をかうかも知りたい。例えば、「野菜とパンをかう」または「野菜、パン、服、本をかう」という答えを予想している。そのため、このような文を日本語に訳す際、「何と何」が当てはまる。但し、インドネシア語の場合、このような文の答えは話し手の予想に合わない場合もある。必ずしも複数の物で答える必要はない。相手が複数の物を買わず、1つだけかうという答えもあり得る。

一方、(28)の文は saja の出現がないと「di sana anda akan membeli apa?」になり、日本語の訳も「あなたはあそこで何をかう」になる。この場合、話し手は複数の答えを仮定していない。

イ. 疑問詞+saja (平叙文)：不定の複数の限定の意味を表す。

- (29) Kami boleh membeli apa saja.
 私たち ~してもいい かう なに 限定副詞
 「私たちは何でも買っていい。」

この構造は (ア) と同様に複数の限定を表しているが、saja に限定される疑問詞「apa (何)」は、日本語に直訳すれば「何でも」という意味になる。私たちが買える物に制限はなく、何でも買える。この場合はたくさん物が買えるので、買えない物はなく、不定の複数という意味を表す。

上記の hanya、saja の意味の考察から考えると、限定副詞としての hanya、saja の違いの重要な点は、同じように唯一の物・方法を限定しているが、hanya の場合話し手は被限定要素に対して、足りないまたは満足していないと感じているのに対し、saja の場合話し手は被限定要素に対して、十分と感じているが、または中立的に判断している。saja は hanya に比べれば、より幅広い限定の意味を用いる。それぞれの限定の意味を検討する必要があると考えられる。

4. まとめと今後の課題

本稿では、インドネシア語の限定を表す副詞の構造的及び意味的な用法について考察した。その結果、文中における hanya、saja の位置、焦点及び作用域が明らかになった。そして、両形式の意味の使い分けが分かった。今後は、hanya、saja を含め、インドネシア語における他の限定表現を研究し、肯定文だけでなく、否定文における相違点と類似点について研究を進展させたいと思う。また、それぞれの限定表現の意味用法の使い分けを詳細に研究し、日本語との対照研究を行いたい。

参考文献

- 澤田美恵子 (2007) 『現代日本語におけるとりたて助詞の研究』くろしお出版
 寺村秀夫 (1991) 『日本語のシンタクスと意味 III』くろしお出版
 仁田義雄 (2009) 『現代の日本語文法第9部とりたて』くろしお出版
 沼田善子 (1992) 『「も」「だけ」「さえ」などとりたて一』くろしお出版

- 沼田善子・野田尚史 (2003) 『日本語のとりたて』 くろしお出版
- 沼田善子 (2009) 『現代日本語とりたて詞の研究』 ひつじ書房
- 益岡隆志・野田尚史・沼田善子 (2001) 『日本語の主題と取り立て』 くろしお出版
- 山田敏弘 (2004) 『国語教師が知っておきたい日本語文法』 くろしお出版
- Alwi, Hasan. Dkk (2003) *Tata Bahasa Baku Bahasa Indonesia Edisi Keenam*. Jakarta: Balai Pustaka.
- Alwi, Hasan (1988) *Kamus Besar Bahasa Indonesia*. Jakarta: Balai Pustaka.
- Chaer, Abdul (2008) *Morfologi Bahasa Indonesia*. Jakarta: Rineka Cipta.
- Chaer, Abdul (2009) *Sintaksis Bahasa Indonesia*. Jakarta: Rineka Cipta.
- Chaer, Abdul (2011) *Tata Bahasa Praktis Bahasa Indonesia*. Jakarta: Rineka Cipta.
- Kridalaksana, Harimurti (2001) *Kamus Linguistik*. Jakarta: Gramedia.
- Poerwadarminta (1961) *Kamus Umum Bahasa Indonesia*. Jakarta: Balai Pustaka
- Sneddon, James Neil (2010) *Indonesian a Comprehensive Grammar 2nd Edition*. New York: Routledge.
- Sugono, Dendy (2011) *Buku Praktis Bahasa Indonesia 2*. Jakarta: Kemendikbud.

